

「作詩の部」「作詩・作曲の部」の作品を募集します!

募集内容は、たんぽぽの家ホームページ <https://tanpoponoye.org/> からご覧いただけます。

第48回

たんぽぽの家 音楽祭

障害のある人たちの心を歌う



言葉の力・歌の力 ~こころをつなぐメッセージ~

2023年

日時 8月6日 sun

開演 14:00
終演 17:00

入場料 一般……………前売/2,500円
高校生以下…前売/1,500円
愛のシート……………2,500円

当日/3,000円
当日/2,000円

会場

DMG MORI
やまと郡山城ホール
大ホール

〒639-1160
奈良県大和郡山市北部山町211-3
<http://www.ykiollah.jp/>

◎近鉄郡山駅下車徒歩7分



主催:奈良たんぽぽの会
助成(予定):日本芸術文化振興会

後援(予定):文部科学省/公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会/奈良県/奈良県教育委員会/奈良市/奈良市教育委員会/社会福祉法人全国社会福祉協議会/社会福祉法人奈良県社会福祉協議会/社会福祉法人奈良市社会福祉協議会/公益財団法人日本YMCA同盟/公益財団法人奈良YMCA/特定非営利活動法人エイガル・アート・ジャパン/日産労連/連合・愛のかんぱ/公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金/国際ソロプチミスト奈良/奈良県商工会議所連合会/社団法人奈良市医師会/一般財団法人奈良県ビジュアルコミュニケーション/公益社団法人奈良まちづくりセンター/関西電力株式会社/Daigasグループ“小さな灯”運動/奈良交通株式会社/株式会社エムケーネット/株式会社毎日新聞社/公益財団法人毎日新聞東京・大阪・西部社会事業団/NHK奈良放送局/社会福祉法人NHK厚生文化事業団近畿支局/近鉄ケーブルネットワーク株式会社/ならびと FM78.4MHz

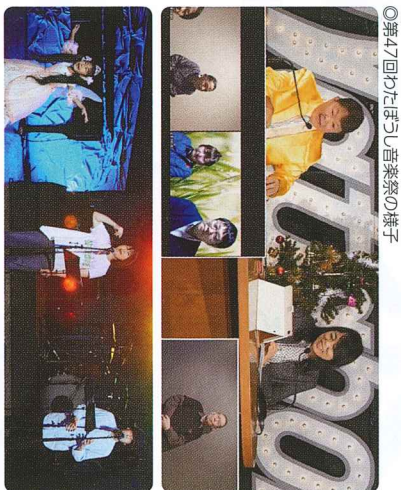


※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、内容を変更または中止させていただく場合があります。

わたぼうし音楽祭

…… 作品募集要項 ……

障害のある人たちが書く詩は、生きることの喜びや哀しみ、いの中の尊さなどを歌っています。そこには大切なものを見失いがちな、今の社会へのメッセージがあふれています。「わたぼうし音楽祭」は、こうした思いをメロディーにのせて歌い、いの中にやさしい社会をつくらうと、1976年に日本のふるさと奈良で生まれました。新型コロナウイルス感染症拡大のため、2020年からの3年間はインターネットで開催しましたが、今年こそは4年振りのホール開催をめざして、只今心を込めて準備中です。尚、これまでホームグラウンドとして利用してきた奈良県文化会館が改装工事に入るため、今年はDMG MORI やまと郡山城ホールに会場を移し開催します。



◎第47回わたぼうし音楽祭の様子

◎第44回わたぼうし音楽祭の様子

- ♪ 「第48回わたぼうし音楽祭」に出場できます
入選作品8点に選ばれた作詩者と介助者1名、作曲者の奈良での交通費・滞在費は主催者が負担します。尚、歌唱者と演奏者の招待については、主催者と作曲者の協議のうえ決定します。
- ♪ 「わたぼうし大賞」「文部科学大臣賞」など各賞が贈られます
入選作品8点には「わたぼうし大賞」「文部科学大臣賞」「奈良県知事賞」「奈良市長賞」をはじめ各賞が贈られます。

- ♪ 全世界に配信されます
「第48回わたぼうし音楽祭」の様子は、YouTube「わたぼうしチャンネル」を介して全世界に配信されます。
- ♪ テレビ放映されます
「第48回わたぼうし音楽祭」の様子は、KCN（近鉄ケーブルネットワーク㈱）が中継録画し、テレビ放映されます。

応募するにはどうすればいいの？

作品を応募するには2通りのパターンがあります。「作詩」のみで応募される場合はA、「作詩・作曲」で応募される場合はBをご覧ください。

A 作詩の部（作詩のみで応募される方）

- 募集内容
夢や希望、思いなどを託した詩をお送りください。テーマは自由。詩集は不可。作品は未発表のものに限りません。
- 応募資格
障害のある人に限ります。
- 応募方法
所定の応募用紙に必要事項を記入し、作品を添えてお送りください。E-mail (wataboshi@popo.or.jp) でも受け付けます。
- 選考及び結果発表
作詩の部の選考会で入選詩8点を決定し、入選者には入選通知をお送りします。入選詩は3月中旬(予定)に毎日新聞紙上で発表します。84円切手を同封のうえご応募いただければ、郵送で結果をお送りします。

B 作詩・作曲の部（詩と曲をセットで応募される方）

- 募集内容
夢や希望、思いなどを託した詩にメロディーをつけてお送りください。テーマは自由。作品は未発表のものに限りません。※作詩の部の応募作品は除きます。
- 応募資格
作詩は障害のある人に限ります。作曲は障害の有無を問いません。どなたでも応募できます。
- 応募方法
1作品につき1枚のCD、MD及びカセットテープに歌を録音し、必ず詩を添えてご応募ください。ウェブサイトからの応募も受け付けています。尚、ウェブサイトからの応募の詳細はたんぼの家ホームページ (<https://tanpoponoye.org/>) をご覧ください。
※所定の応募用紙に必要事項を記入し、作品に添えてお送りください。伴奏のみ、楽譜のみの応募は受け付けません。

締め切り 2023年2月17日(金)必着

入選詩8点を決定後、作曲の募集を開始します！

…… 作詩の部の入選詩に曲を募集します ……

- 募集内容
入選詩にメロディーをつけてお送りください。
※入選詩はたんぼの家ホームページ (<https://tanpoponoye.org/>) からご覧いただけます。ご希望の方は事務局までご連絡いただければお送りします。
- 応募資格
障害の有無を問いません。どなたでも応募できます。
- 応募方法
1作品につき1枚のCD、MD及びカセットテープに歌を録音してご応募ください。ウェブサイトからの応募も受け付けています。尚、ウェブサイトからの応募の詳細はたんぼの家ホームページ (<https://tanpoponoye.org/>) をご覧ください。
※所定の応募用紙に必要事項を記入し、作品に添えてお送りください。伴奏のみ、楽譜のみの応募は受け付けません。

締め切り 2023年5月12日(金)必着

作品のご応募またお問い合わせ先

第48回わたぼうし音楽祭作品募集係

〒630-8044
奈良市六条西3-25-4
奈良たんぼの会内
Tel 0742-43-7055 Fax 0742-49-5501
E-mail wataboshi@popo.or.jp
URL <https://tanpoponoye.org/>

締め切り 2023年5月12日(金)必着

〈A/曲が付いた作詩の部の応募作品〉と
〈B/作詩・作曲の部応募作品〉を合わせ、
「第48回わたぼうし音楽祭」で発表する
入選作品8点を決定します。

- 選考及び結果発表（「作詩の部」「作詩・作曲の部」とも）
「作詩の部」及び「作詩・作曲の部」の選考会で入選作品8点を決定し、入選者には入選通知をお送りします。入選作品は6月中旬(予定)に毎日新聞紙上で発表します。84円切手を同封のうえご応募いただければ、郵送で結果をお送りします。

第48回わたぼうし音楽祭に出場！

- ・応募作品は返却しません。
- ・入選結果に関するお問い合わせにはお答えできません。
- ・「作詩の部」の入選詩は、作曲の都合上、補作することがありますのであらかじめご了承ください。
- ・応募された詩及び楽曲の著作権は、それぞれの作者に帰属します。
- ・作詩のみの入選は、プログラムに入選詩を掲載し招待券を2枚お送りします。
(奈良に来られる場合の交通費、滞在費は自己負担願います)

【注意事項】

ふしぎなまほう

作詩：あん（滋賀県彦根市・21歳）

あんぱんひとつ ありました
 ぼくもきみも おなかぺこぺこ
 ぜんぶたべたい ふたりとも
 けんかして かなしくなった

おなかも ペこペこ
 なんで たべたのに
 ころも ペこペこ
 きみがいない からっぽ

どうしたら よかったの
 きみもぼくも しあわせなみち
 あんぱんかって きみのおうち
 ごめんねって むかおうか

あんぱんひとつ ありました
 ぼくがとって きみはないうる
 まだたべたい ふたりとも
 なかなおり したいっていった

おなかも ペこペこ
 はんぶんこ どうぞ
 きもちも ペこペこ
 きみがいる みちてゆく

いっしょにね おいしいねって
 たべるからこれは こんなに
 しあわせあじに おもえるんだ
 ひとりじめは しょっぱいね

わけっこって へっちゃうようで
 しあわせが いっぱいうまれる
 うれしいきもち ばいになる
 わけっこは ふしぎなまほう

これからも…

作詩：奥谷 泰代（奈良県桜井市・39歳）

今まで自分の体はどう動いていたんだろう？
 動かしていたのかな？
 今まで人の顔や景色はどう見えていたんだろう？

もうなんとなくしか思い出せない

思うように動かなくなってしまった体
 思うように見えなくなってしまった

まだ少し動いていた時 少し手を動かしていた時
 もう少し見えていた時

陶芸や手芸やそしてパソコンで
 LINEスタンプも作ったよ
 出来上がるのが 楽しくて嬉しくてたまらなかった

たまに思う
 戻りたいなって
 今よりまだ動いていた頃に
 今よりまだ見えていた頃に

でも今は絵を描くこととスマホ操作が一番の楽しみ
 筆を持つのも両手を使っても難しいけど
 どこに色を塗るかも手探りだけど
 一筆一筆 丁寧に描いていきたい
 スマホの操作だって
 音とスイッチがあればなんでもできる

今は助けて支えてくれる人が たくさんいてくれて
 すごく心強い

だから今
 まだ自分で出来ること
 頑張りたいな
 楽しみたいな
 助けてもらっている
 支えてもらっていることを
 いつも忘れずに
 感謝 感謝 ありがとう

「作詩の部」入選作品一覧

ちいさなて

作詩：古賀 清美（熊本市・60歳）

ママの手をつないで 歩いてくれた
 ちいさなてのひらの あたたかさ
 今も心をつないでいます

わがままも言えずに 丸めたハンカチ
 ポッケのなかで にぎりしめた

今もきこえる あなたがよぶ声

ママの手をつないで 歩いてくれた
 ちいさなてのひらの あたたかさ
 今も心をつないでいます

甘えることもできずに ひとりねむった
 枕のうえに 涙こぼれ

今もきこえる あなたがよぶ声

ママの手をつないで 歩いてくれた
 ちいさなてのひらの あたたかさ
 今も心をつないでいます

だきしめてほしくて ちょっぴりすねたり
 机のすみに きずをつけた

今もきこえる あなたがよぶ声

ママの手をつないで 歩いてくれた
 ちいさなてのひらの あたたかさ
 今も心をつないでいます

今もきこえる あなたがよぶ声

「ありがとう」を今 あなたに

みんながいる

作詩：近藤 己順（大阪府羽曳野市・40歳）

生きづらくてうまくいかない日々だった
 見様見真似の作り笑顔で悲しみを隠した
 何度も逃げてしまいそうになった
 でもそんな日々はやめたのだ

諦めなかった叫び続けた
 不器用なままの私を認めてと
 わかってくれる人が一人また一人と増えていった
 この世は捨てたものじゃない
 未来は明るい

人とうまくやれなくて
 トラブルばかりで
 誰もかれもが嫌いになりそうだった
 扉を閉めそうにもなった

でも私はひとりぼっちを選ばなかった
 できる限り努力して歩み寄った
 そばにいてくれる人が一人また一人と増えていった
 優しい人も必ずいる
 素晴らしい世界

私はいつも頑張ってきた
 努力して声をあげて結果がついてきた
 私の側にいてくれる全ての人へお礼を言うよ
 本当に本当にありがとう
 私は幸せ者です

ちいさいわたしへ

作詩：鈴木 美緒（兵庫県神戸市・16歳）

ちいさい わたしは
「なんで見えないんだ みんなは見えてて
ぶつからずに走れるのがずるい」
「なんで見えないんだ みんなは声がなくとも
表情が見えてずるい」
って思ってたよね

ちいさいわたしへ
これから いろいろなことに出会うよ
楽しいこと うれしいこと

タンDEM自転車に乗れるよ
風が気持ちいいよ
さわる練習をいっぱいして魔法の手になるよ
点字も読めるよ
本がたくさん読めるようになるよ
自分で物語が書けるよ
すごく自分の世界が広がるよ
わくわくするよ
誰の声かすぐにわかるようになるよ
友達ができるよ
手先が器用になるよ
ビーズでアクセサリを作れるようになるよ
頭の中に地図が描けるようになるよ
白杖で歩けるようになるよ

誰かの手を借りれば
できることもあるよ
見えていても見えなくても
わたしにしかできないこともあるし
もしかしたらすごい才能が
眠っているかもしれない
あきらめたら もう進めないけど
あきらめなかったら
自分の道が 開けるかもしれない

ちいさいわたしへ
だから 元気に前を向いて歩いて行こう

私の夢

作詩：陳 惠琳（大阪市・14歳）

私はフィギュアスケートをやっている
私はスケートが好きだから
練習は一生懸命やってるよ
髯は私だけだけど
外国人はたくさんいる
インド人 中国人 韓国人 アメリカ人 イギリス人
いっぱいいるよ
みんなスケートが好きだから来てるよ
ジャンプしたり スピンしたり ステップしたり
するよ
昨日の練習でも転んだよ
手首とひざが痛かったよ
出血したり 骨折したりすることがあるんだ
難しくて なかなか上手いかない
すごく寒いよ
私のお父さんが
「寒すぎて鼻水がでて無理」
って言ってたよ
でもあきらめない
やるよ
もっと上手くなったら
音楽に合わせて滑る
けど
私は耳が聞こえにくいから不安だな
でもやるよ
めっちゃ好きだから
四回転跳びたい オリンピック出たい
素晴らしいアイスショーにも出たいよ
これが私の夢だよ

イイカゲン人生

作詩：富谷 和馬（岡山県高梁市・60歳）

フリフリCP 60年
山あり谷あり出会いあり
生き場所もさまざま変わったけど
オイラ 根っから意地っ張り
風を起こして 人を奮わせ 空気を動かし
我が路を歩いてきた
昇って 降(くだ)って また昇り
ちょうどイイカゲン イイカゲン人生
残り時間は少ないけど
笑って 怒って 泣いて
のんびり 楽しみ 進んでいくぜ

ユラユラCP アテトーゼ
頸椎歪んで 気力ZERO
いくつもの恥辱も浴びせられて
リスク高めオペを受け
熱と出会って 我(われ)を奮わせ 前への想いが
僅かに蘇った

転んで ドンマイ また起きて
これもイイカゲン イイカゲン人生
おしめ離れができないけど
笑って 怒って 泣いて
のんびり 我が路 進んでいくぜ

グラグラCP 60年
いい時 わるい日 巡りゆき
瞬間の言葉を発しながら
オイラ 手渡しした気だが
風を起こして 人を奮わせ 世間が動くにや
まだまだ足りねえな

浮かんで 沈んで また浮いて
ちょうどイイカゲン イイカゲン人生
残り時間は少ないけど
怒って 宥(なだ)めて 諭し
我が身の生き様 晒(さら)した言葉
リミット来るまで 遺していくぜ

紅色(くれないいろ)の花

作詩：福原 立春香（福井市・21歳）

本当の絆が生まれた日
私ははじめて強くなれた
遠くのあなたを思った日
私の心は満たされた
去りゆく人も 消えゆく物も
すべては心で生きている
無限に輝きを放つ種は
いつか美しい花になる
愛と希望の光を浴びて開く
新しい朝へ続く花
喜びに満ちたこの心に乗せて
今あなたに届けたい

自分の弱さを認めた日
私はきっと報われる
素直な気持ちと謙虚さは
未来の扉の鍵になる
過ぎゆく昨日も まだ見ぬ明日も
すべては心の中にある
無限の可能性を秘めたつぼみは
やがて美しく花開く
時には涙で体潤し育つ
新しい種を結ぶ花
感謝に満ちたこの思いに乗せて
今あなたに届けたい

第48回わたぼうし音楽祭 応募用紙

※事務局
記入欄

受付 No.	切手
※	※

作品名 *は事務局 記入欄	*	
	*	
	*	
	作詩者	作曲者
ふりがな		
名前	(男・女・その他・無回答)	(男・女・その他・無回答)
生年月日	19 20 年 月 日 歳	19 20 年 月 日 歳
連絡先	〒 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> その他 () *施設などが連絡先で担当者がある場合は [担当者名] 担当者名をお書きください。	〒 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> その他 () *施設などが連絡先で担当者がある場合は [担当者名] 担当者名をお書きください。
電話		
F A X		
E - m a i l		
障害の状態		
応募回数	初 ・ 回目	初 ・ 回目
作品に込めた 思い		◎入選した場合の演奏形態 ♪自分たちで (歌 ・ 演奏) をする ♪事務局に (歌 ・ 演奏) を依頼する

♪どこで募集をお知りになりましたか。

- ダイレクトメール 新聞 (新聞) 友人・知人 たんぼの家 HP
SNS () 設置のチラシ (どこで?) その他 ()

♪選考結果の通知を [希望する ・ 希望しない] *「希望する」場合は必ず84円切手を同封してください。

♪この応募用紙はコピー可です。

*お預かりした個人情報は、わたぼうしプロジェクトにおいてのみ、使用します。